

はじめに

早稲田イーライフは健康で楽しく長生きできるお手伝いをします

私たちが地域社会に貢献したいという思いから始めましたデイサービスもお陰様で7年半を迎えることが出来ました。その間、たくさんの方との出会いがあり、お元気になって自立生活に戻られる方もあり、逆に病状が変化し入院される方などいろいろなケースに直面し、健康で生活することの大切さをたくさん学ばさせていただきました。

新型コロナウイルス感染症も第5類に移行し、街中ではマスクをしていない方も増えてまいりました。感染蔓延中は、外出の機会が少なく、体力・筋力低下が見られたご利用者様も、以前のようにだんだんと運動の機会を取り戻しつつあります。まだまだ予断を許さない状況ではありますが、ご利用者様もご自身の筋力体力を維持したい思いから、弊社の感染症対策をご理解いただいた上、楽しく運動されています。お休みも減り、さらに新規のご利用希望者様も増えてきております。

これからも、地域の皆様が、健康で楽しく長生きできるお手伝いをできるよう頑張っております。

運営会社

株式会社アドバンスコーポレーション 本社：多摩市和田842-4 設立：平成28年7月21日 代表取締役 青木 亨

事業理念につて

- ・地域社会への貢献(地域のインフラを目指します)
- ・働く人が、やりがいを持って楽しく働く場所の創造

運営方針

早稲田イーライフ多摩貝取は、ご利用いただく皆様が明るく元気で自立した生活を営むことができるよう、日常生活に必要な筋力や基礎体力を維持する為の、お手伝いをいたします

サービスの内容

介護予防特化型デイサービス(早稲田イーライフFC:全国に110施設)

- ・早稲田大学スポーツ科学部の研究施設で開発研究された科学的根拠に基づいた介護予防プログラムを提供
- ・短時間(3時間)で機能訓練中心のプログラム
個々の身体状況に合わせて、マシン負荷や時間を調整
- ・安全なマシンを使用した筋力向上プログラムの実施
- ・リハビリなどでも使用しているレッドコードを使用したストレッチ運動
- ・ロコモ(寝たきり状態)予防トレーニング(イートレ)
- ・歩行データ測定(AYUMI-EYE:3か月ごとに計測)

営業日 月曜日～金曜日

サービス提供時間 午前 9時00分～12時10分(3時間10分)

午後 13時30分～16時40分(3時間10分)

定員 10名

要支援、要介護の方が、認定が変わっても引き続き利用可能なように、両方の許認可を取得し、同じプログラムを提供しています

オープンからの歩み

平成 28年12月 総合事業許認可(要支援、事業対象者) 見学開始

平成 29年1月 総合事業利用開始

平成 29年2月 地域密着型許認可(要介護) 利用開始

他施設との差別化 取り組み

AYUMI-EYEの導入

タブレットを使用した歩行測定

歩行状態の見える化の実現

レッドコードによるストレッチ

マシンによる筋力アップの運動プログラムは当然の事、レッドコードによるストレッチ運動の実施

イーライフボールによる筋肉ほぐし

準備体操にイーライフボールを取り入れ、筋肉を弛緩

少人数定員にこだわり、一人一人との触れ合いを大切にしています

要介護認定者への個別機能訓練の強化

生活動作改善の為の個別機能訓練実施

※総合事業認定者も希望者は実施

運動はもちろん事、利用者同士やスタッフとのコミュニケーションも大切に考えています

利用状況

利用者数(9月1日現在)

64名 (利用率 98%)

年代別利用者数

90代	11名
80代	39名
70代	14名
60代	0名
平均	84.2歳

※半年間で、高齢化が進みました
半年間で平均年齢0.3歳上がった

介護認定別

要介護5	1名
要介護4	1名
要介護3	5名
要介護2	7名
要介護1	7名
要支援2	21名
要支援1	11名
事業対象者	11名

総合事業 67.2%

地域密着型 32.8%

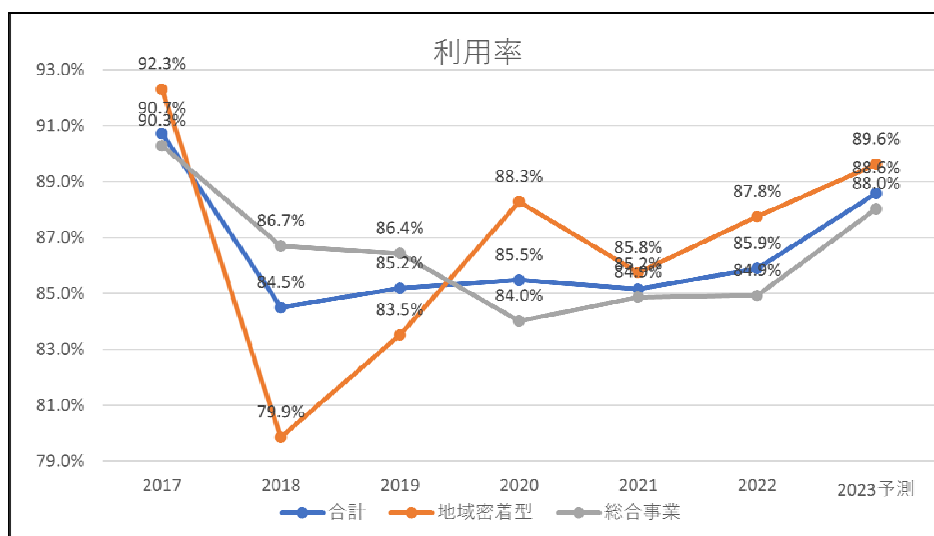
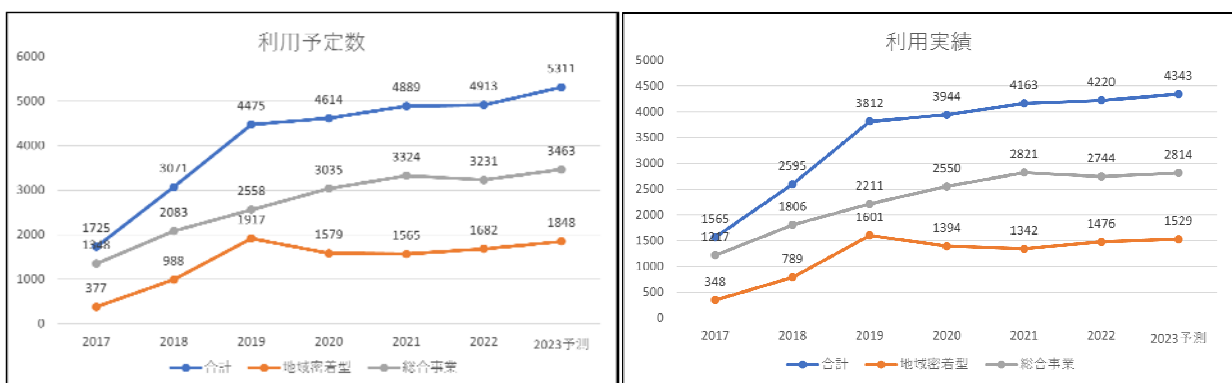
※半年前に比べ、総合事業が1.5ポイント増加

性別

男性	24名	37.5%
女性	40名	62.5%

※半年前に比べ男性の割合1.8%増えている

ご利用の推移



利用率の向上は、ご利用者の心身状態が安定し自立度向上に繋がっていると考えられる

ヒヤリハット・事故報告

ヒヤリハット

※年月無しは、発生件数ゼロ

年月	件数	主な内容
開業～令和3年3月	23	4年間の件数
令和3年4月	1	施設内でのつまづき
令和3年8月	1	施設内でのつまづき
令和3年10月	1	自宅出る際に転倒
令和3年10月	1	施設内でのつまづき
令和3年12月	1	施設内でしりもち
令和3年12月	1	施設内でのつまづき
令和4年1月	1	施設内で転倒
令和4年3月	1	送迎車ドアに指を挟みそうになった
令和5年1月	1	施設内でしりもち
令和5年1月	1	施設内でのつまづき
令和5年4月	1	施設内で転倒
令和5年5月	1	施設内でのつまづき(ふらつき)

事故報告

年月	件数	主な内容
令和2年8月	1	手指消毒アルコール噴霧が目に入った

ご利用者住所(地域別)

※包括支援センターエリア区分け

北部地域	17名	一ノ宮、関戸、愛宕、貝取1、豊ヶ丘1
西部地域	8名	和田、東寺方
東部地域	6名	諏訪、聖ヶ丘、馬引沢
中部地域	13名	豊ヶ丘、永山、貝取
多摩センター地域	20名	落合、鶴牧、唐木田、中沢

※地域により、利用者のばらつきがある。西部・東部エリアが少ない

職員の変更・資格の取得状況

生活相談員	2名	※介護福祉士2名
介護福祉士	2名	
柔道整復師	1名	
実務者研修受講修了	1名	※来年1月の介護福祉士受験予定

今期(R5.4～R5.9)の、人員の変更はありません

ご利用者の声

- ・普段は、カート・杖での移動でしたが、今では施設内は杖もなく移動ができるようになりました
- ・自宅にいると誰とも話すことがないが、ここに来ると話ができ、生きがいにになりました
- ・先日久しぶりに、電車に乗って外出しました。歩くことに自信ができました
- ・姿勢がよくなったと、ご近所の方に言われました
- ・自宅にこもりがちのご主人が、デイに行くことで明るくなり散歩もするようになりました
- ・握力がついてきて、ペットボトルの蓋が開けられるようになりました
- ・骨折による入院時の筋力低下を取り戻してきました
- ・食事がおいしく、睡眠もよくとれるようになりました
- ・自宅では無口な方が、よくお話をされるようになったとのこと(家族談)
- ・歩行が安定して、少しですが散歩に行けるようになりました

- ・筋力低下で、足が細かったが、筋肉が付き、足に張りが出てきました
- ・筋力が付き、歩行が安定してきました。転倒の不安が減ってきました
- ・先日、夫婦で実家まで帰省しました。歩行に自信が出てきました
- ・長座からの立ち上がりが大変でしたが、個別プログラムを実施して頂き助かりました
- ・運動習慣が身につく、自宅でも簡単な運動をするようになりました

今後の課題

利用希望者に対して、空きがなくご利用者様やケアマネージャー様の要望に答えられていない土曜日、日曜日の施設の有効利用を検討

コロナ禍終息の流れにより、利用希望者が増加してきています。その為、空きが少なくやむを得ずお断りせざるを得ない状況になっています。市民の平均年齢も徐々に上がってきていることを考えると、デイサービスは、社会生活の中で、インフラに変わって来ています。今後の地域貢献を考え、従業員の幸せを考える上でも施設自体をしっかりと支える必要があることを実感しています。その為の、尚一層のお力添えをお願いしたいと思っております。